

9月号2015年9月3日発行
第306号 担当者(2A)
県立芸術緑丘高等学校図書委員会

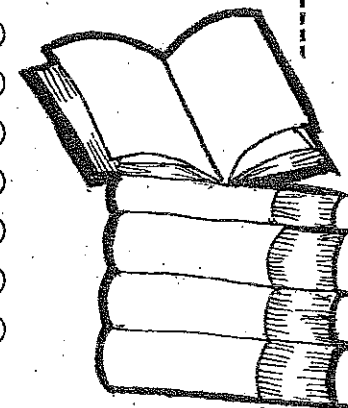


1学期の読書は?

(データ: 2015年4月1日~7月30日)

●クラス別 貸出冊数&1人平均冊数は?

1 M	117冊	(4.0冊)
1 A	268冊	(6.7冊)
2 M	38冊	(1.2冊)
2 A	137冊	(3.4冊)
3 M	143冊	(4.3冊)
3 A	118冊	(3.0冊)
全学年	821冊	(3.8冊)



by H-K

●よく読まれた本は?

- 1位 「陽だまりの彼女」(越谷オサム:著)
- 2位 「西の魔女が死んだ」(梨木香歩:著)
- 3位 「博士の愛した数式」(小川洋子:著)
- 4位 「妖怪アパートの幽雅な日常」シリーズ
(香月日輪:著)
- 5位 「魔女の宅急便」(角野栄子:著)
「透明人間」(ウエルズ:著)
「鹿の王 上・下」(上橋菜穂子:著)
「ぼくは勉強ができない」(山田詠美:著)
「すべてがFになる」(森博嗣:著)
「サラバ! 上・下」(西加奈子:著)
「アルテミス・ファウル 妖精の身代金」
(オーエン・コルファー:著)

●たくさん読んだ人は?

- 1位 41冊 1人(2A)
- 2位 25冊 1人(1A)
- 3位 14冊 2人(1A 2人)
- 5位 11冊 4人(1M 2人)(2M)(2A)

朗読会

◆日時 9月14日(月) 16:00~16:30

◆場所 図書館

◆読む本 『絵本 悪魔のりんご』 舟先克彦:作 宇野亜喜良:画

【メンバー】

朗読: 図書委員 安部瑠菜(1A) 木崎陽織(1A)
古瀬樹莉(2M) 羽田野妃奈(2A)

作曲: 中村仁(3M)

演奏: 図書委員 大久保優香(ファ) 川辺まや(クラ) 古川明瑠(Cb) 森迫真央(P)
音楽科有志 釜口和実(バ) 佐藤愛花(オ) 福角陸(フル) 生嶋奈菜(セロ)

背景: 首藤匠(3A) 江口飛鳥(3A)

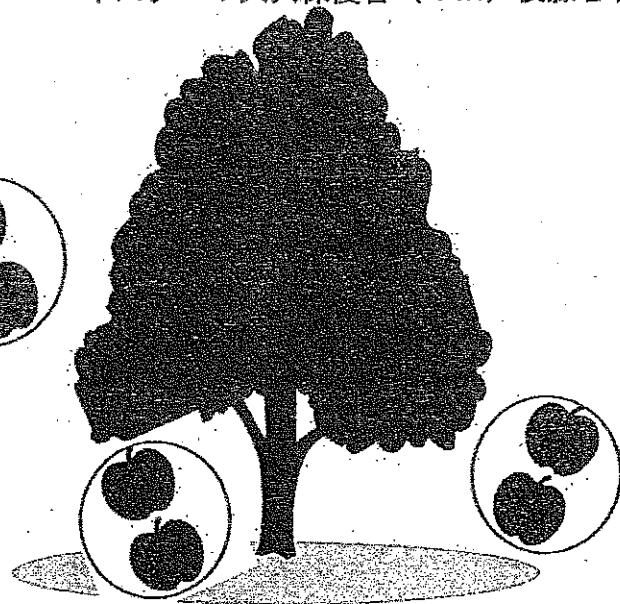
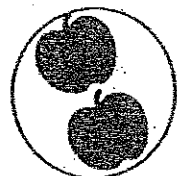
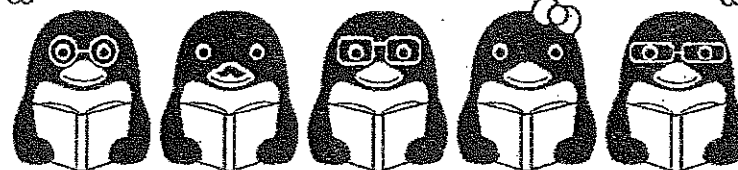
ポスター: 大久保優香(1M) 後藤春香(1M) 岩崎明(2A)

→おとし、諸般の事情です。(秋お記)



ごあいさつ

大変お待たせしました。7月から背景やポスター...を制作。音楽科有志の演奏付という、緑丘オリジナル朗読会です。ぜひ、お楽しみください。 図書委員長: 首藤



人と本

英語科 柿内亜紀先生



by. 2A
サブ-ター

Q1 芸術緑丘高校の印象的なこと

校内の雰囲気、佇まい、です。あえて一言で表せば「秘密の花園」、ずっと大切にとっておきたい、特別な場所。たとえ何かが出来なくて、歯がゆいことや辛いことがあったとしても、自分のやりたいことに時間をかけられる幸せに包まれている、みんなの姿を見るのが好きです。

Q2 高校時代の読書、学校図書館に関連したエピソード

子どもの頃から立派な(?)カウチポテト—いや、うちの茶の間にはカウチなんてしゃれたものはなかったから「畳いも」やな—でした。あまりまともな読書はしていません(秋吉先生ごめんなさい)。兼高かおる世界の旅、素晴らしき世界旅行、驚異の世界、ディズニーワールド、奥様は魔女、セサミストリート、月曜ロードショー、日曜洋画劇場等々、外国の自然や生活、文化が垣間見える番組をよく見ていました。音楽も、姉や兄の影響で小学校高学年から「洋楽」を聴き始め、40年来のQueenファンです。今でも iPodに入っているのは8割がた洋楽です。

高校在学中は3回くらいしか図書館に行っていないです(秋吉先生ごめんなさい)。たまに読む本は、SFやミステリ、ファンタジー、外国の童話や民話集が多かったです。当時の読書は娯楽、完全に別世界に入り込む、自分一人だけのとっておきの楽しみ、脳内映画劇場でした。

そして、まんが(秋吉先生ごめんなさい~!)。小学校の頃は、りぼん・別マ(別冊マーガレット)派、中高で「花とゆめ」・「LaLa」・「プチフラワー」に移行しました。小遣いは弁当のおかず代とレコード&靴に消えていたので、部活帰りに立ち読みしたり、休みの日にともだちの家に読みに行ったりしていました。

萩尾望都、山岸涼子、大島弓子、陸奥A子、魔矢峰央、土田よしこ、倉田江美、大学入学後は高橋留美子、大友克洋、星野之宣、諸星大二郎、高野文子、内田善美、川原泉、小道迷子…やっぱりSF、ファンタジー、ナンセンス系が多いですね。昭和30年代生まれの幸せを満喫しました。

Q3 「おすすめの本」

~秋の夜に窓辺で読みたいブラッドベリ

タイトルに惹かれて読み始めたブラッドベリ。The October Country「十月はたそがれの国」、Something Wicked This Way Comes「何かが道をやってくる」なんてハロウィーン時期にぴったりでしょう? そんなブラッドベリの作品からみなさんにおすすめしたいのは……

R is for Rocket「ウは宇宙船のウ」

When I was a boy in the Midwest I used to get out and look at the stars at night and wonder about them.

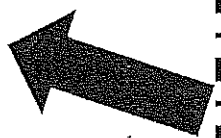
I guess every boy has done that. (作者自身のまえがきから…)

There was this fence where we pressed our faces and felt the wind turn warm and held to the fence and forgot who we were or where we came from but dreamed of who we might be and where we might go. (R is for Rocketの第一文)

そこには例のフェンスがあって、僕らは顔を押し付け、風の温度が上がるのを感じ、フェンスにかじりついて、自分たちが何者か、どこから来たのかなんてさっぱり忘れ、ただ自分たちは何者になるのか、そしてどこに行くのかってことばかり夢見ていた。

短編集です。けっこう日本語が変なところ(誤訳?)が多いので、ちょっと読みにくいかもしれませんが、星のきれいな夜に読みたいくなる一冊です。これを原作にした萩尾望都の漫画「ウは宇宙船のウ」、アンドリュウ・ニコル1997年の映画「Gattaca ガタカ」も合わせておすすめします。

あなたの脳内映画劇場で珠玉のファンタジーを!!



今月の花

リンドウ

花言葉：苦惱、悲嘆にくれるあなた

科・属名 リンドウ科リンドウ属
出回り期 9~11月(最盛期9月)
日持ち 5~10日程度
カラー 青紫~紫紅、白

—東西で薬効が知られた花—

ヨーロッパでは、この花の薬効を発見したと伝えられるアドリア海沿岸のイリリア国王ゲンティウスにちなむ、ゲンティアナの属名を持ち、中国でもこの属の植物は古くから竜胆という生薬として有名です。

日本では、役行者(えんのぎょうじゃ)と呼ばれた役小角(えんのおづめ)が山奥で、病気の主人のためにリンドウを掘るウサギに出会い、小角も試しに持ち帰って病人に飲ませたところ、優れた薬効があったという話が日光の「二荒縁起」(ふたらえんぎ)に伝わります。



by H.H

「人と本」 しっかり読もう!
先生の楽しいコメントや本の紹介は、毎月とても充実しています。じっくり、しっかり読みましょう。きっと、あなたの心の糧になるでしょう。(学校司書：秋吉記)